

# 令和3年度北薩地区フレッシュ研修（初任校研修）研究授業研修【特別活動】

（令和4年1月14日金曜日）

## 1 目的

研究授業や授業研究等を通して、特別活動の内容に関する理解を深め、指導方法等についての資質を高める。

## 2 会場及び出席者

さつま町立柏原小学校（小学校及び義務教育学校の教諭 35人）

薩摩川内市立平成中学校（中学校及び義務教育学校の教諭 14人）

## 3 研修の様子



### 研究授業（代表授業）

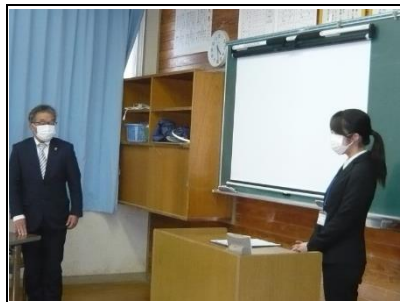
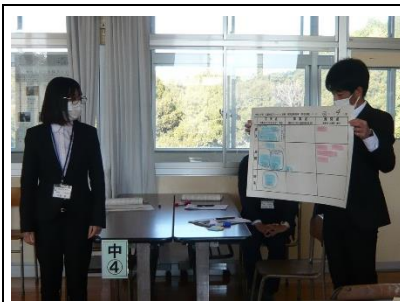
さつま町立柏原小学校  
古市佑貴教諭（2年）

### 授業研究・研究協議

（司会）阿久根市立折多小学校  
柿内志乃教諭

### 初任者代表挨拶

阿久根市立阿久根小学校  
齋藤瑛康教諭



### 研究授業（代表授業）

薩摩川内市立平成中学校  
永田拓海教諭（2年）

### 授業研究・研究協議

（司会）阿久根市立阿久根中学校  
川崎洋平教諭

### 初任者代表挨拶

出水市立高尾野中学校  
馬場園友史江教諭

## 【初任者の感想】

- 初任者代表授業を行うために、児童と様々なことに取り組んでよかったことが多くあった。児童から意見が出にくいときの助言の仕方等について課題も分かり、実践をしながら指導を深めていきたいと思う。
- 今回の研修に参加して、改めて自分の学級経営についてもお互いを認め合える関係をつくっていかないとけないと身が引き締まった。
- 特別活動は、少しずつ成長していく児童の姿を見ることで嬉しく感じることができ、良さをみることができることが分かった。
- 校長講話であった「好かれる先生ではなく、子供のためにできる先生」になれるように頑張りたい。
- 初任者代表授業をさせていただく中で、非常に多くの学びがあった。研究協議の中でたくさんの視点から授業の工夫や手立てを知ることができ、一人一人が主役となる学級づくりへ向けて、再スタートしていきたい。
- 北薩地区の初任者と会う回数を重ねるごとに会話も弾み、協議の際も活発な意見を交わすようになった。仲間意識が高まってきた中で集まる機会がなくなると思うとさみしい。
- 生徒も教師もまずは実践することが大切である。「成すことによって学ぶ」この言葉を忘れずに今後も取り組んでいきたい。